

題「空をこえて大きくなった私」

四年 山口 由莉

「そろそろかな。」

この夏、大きな成長を感じる体験をした。人生で初めて一人で飛行機に乗り、大好きなお兄ちゃんに会いに行ったのだ。行き先は、お兄ちゃんの住む鹿児島市。これまで家族と旅行したことはあっても、一人で飛行機に乗るのは初めてで、楽しみと同じくらい不安も大きかった。空港のスタッフから航空券をもらい、それを無くさないように小さなホルダーに入れて首からぶら下げた。なんだかっこいい。とう乗口で出発を待つ間、かばんからマンガを取り出しページを開いた。読んでいるけれどうわの空。心臓のドキドキが止まらない。落ち着かせるためレモン味のガムをかんでみた。少しだけ落ち着いたら。

「ピーン、ポーン。」と音が鳴り響いた。大変、お待たせいたしました。これより鹿児島行きのお乗車を案内いたします。

「いよいよだ。」私は立ち上がり、ゲートへ向かった。首にぶら下げているポーチの中から航空券を取り出す手が

震えていた。さっきよりも心臓の音が大きくなっていった。

私の兄は四月から鹿児島の高校に通っている。もう四ヶ月も会っていない。こんなに会わない時間は初めてだ。家にいるときは、私の話を聞いてくれ、遊びにも付き合ってくれて私の自慢の兄だ。「いない生活になれてはきたけれど、やっぱり会いたい。自分の成長した姿を見てもらいたい。」という思いが私の背中を押してくれた。「よし。お兄ちゃんに会いに行くぞ。」と心に決めたとき、胸の奥から勇気がわいてきた。

飛行機に乗るまでのルートを歩き、ついに一人で飛行機に足を踏み入れた。

「よろしくね。私が由莉ちゃんをサポートします。安心・安全に鹿児島に送るからね。」

とキャビンアテンダントさんが優しく声をかけてくれた。その言葉に心強く感じた。

やがて、飛行機が離陸体制に入った。機内が暗くなりものすごい速さで空を飛んだ。機体がなめになり、体がぐっとシートに押しつけられた。窓から見える景色は、一瞬で白く広い雲のじゅうたんに変わった。広がる景色に心を奪われ、不安は消え去った。

「まだ坊主頭のままなのかな。」「かっこいい高校生になっているといいな。」と少しだけ髪が伸びたお兄ちゃんを思い浮かべた。気が付けば鹿児島空港に着陸していた。

「大丈夫だった。よくがんばったね。」と聞き慣れた声で優しく頭をなでくれた。私はピースサインで言った。

「一人で来られたよ。」外に出ると、青空が広がっていた。心がスカッと晴れて私は思わずジャンプした。あのときの不安や緊張はいつの間にか心の強さへと変わっていた。これからは勇気を出して挑戦し、新しい階段を登っていききたい。

「次は一人でどこまで行こうかな。」

町 理科学研究記録展

「龍郷理科学研究記録展」において、本校から4名の児童が入賞しました。おめでとうございます。

＜特選＞

4年 山田 帆南飛さん 「色水の温度変化について」

4年 山口 由莉さん 「どこまで飛ぶか？紙飛行機」

＜入選＞

5年 福山 杏昇さん 「ペットボトルで雲づくり」

6年 山田 昊南翔さん 「葉脈」

※「？」から始まる自由研究。日常の中に「？」をたくさん見つけて、筋道立て解決していく力は素晴らしいです。

町 作文コンクール

町の作文審査会において、下記の子供たちが入賞しました。おめでとうございます。

＜特選：龍郷町代表作品として地区審査会へ＞

4年 山口 由莉さん 「空をこえて大きくなった私」

6年 悦 冬海香さん 「踊りに想いをのせて」

6年 荒関 音色さん 「結いの心を未来に」

＜特選＞

1年 牧主 昊空さん 「またあえるといいな」

2年 福原 明莉さん 「ひいじいちゃん きいててね」

＜入選＞

1年 修行 吟さん 「ひとりでのれたよ」

2年 金井 はなさん 「わたしの知らない世界」

3年 大茂 奏真さん 「いつか、きっと」

5年 福山 杏昇さん 「感謝」

十五夜敬老豊年相撲大会

9/14(日)は、戸口校区の十五夜敬老豊年相撲大会でした。数日前から促進会で企画会議をし、中入りの練習や会場準備・接待準備と各集落で準備をがんばっていました。当日は、敬老者のみなさんをお招きし、未就学児から一般まで相撲をとりました。戸口小学校の男児も全員まわしを着け参加しました。保育園児や小学生低学年までは、ほのぼのとした相撲で会場を笑顔にしてくれましたが、中学年から上は、技が光り、見応えがありました。途中、[龍南中学校の住吉校長](#)をはじめ岡島教諭・赤塚教諭が、中学校の生徒と真剣勝負を繰り広げ、会場を盛り上げてくださいました。

また、一般の相撲は、どの勝負も見応えのある相撲で、見ている側も力が入りました。[大人のみなさんが真剣に、そしてさわやかに戦いに挑む姿を子供たちに見せてくださるの](#)で、戸口の子供たちはたくましく育つのだと思いました。

脈々と受け継がれている伝統を、戸口小の子供たちも引きついでくれることでしょう。



個人戦...優勝者

低学年：松元 絢斗 さん

中学年：中村 宗介 さん

高学年：牧主 拓誠 さん

中学生：赤尾 幸大 さん

一般：赤尾 健太 さん

団体優勝

上・中戸口合同チーム



輝いてます！ 戸口っ子

様々なスポーツ大会で、子供たちはがんばっています！紹介します。

【8/23 4年生以下バレーボール大会】3位

2年 松元 絢斗 さん

3年 大茂 奏真 さん・牧主 煌ノ介 さん・山口 新太 さん

4年 松元 咲人 さん・山口 稀乃桐 さん

山口 琥雅 さん・山口 由莉 さん

【8/31 学童野球クイーンコーラル旗】優勝

6年 牧主 拓誠 さん

4年 中村 宗介 さん

【8/31 ゴールドフット杯 少年サッカー大会】A、B 優勝

6年 金井 蒼二郎 さん・山田 昊南翔 さん

4年 山田 帆南飛 さん

勝っても負けても、いつも真剣に、全力で取り組んでいる子供たち！すばらしいです。指導者の皆さんも、いつもありがとうございます！

【9/21 4年生以下 野球大会】優勝

4年 朝 棕平 さん 中村 宗介 さん

3年 牧主 煌ノ介さん 1年 牧主 昊空 さん

【9/21 全日本U-12サッカー地区予選】優勝

6年 金井 蒼二郎 さん・山田 昊南翔 さん

4年 山田 帆南飛 さん

【9/21 第66回 龍郷町相撲大会】

小学生団体 3位 6年 牧主 拓誠 さん・松元 颯斗 さん

4年 山口 琥雅 さん・3年 牧主 煌ノ介 さん

個人戦 6年 優勝 牧主 拓誠 さん・3位 河波 理仁 さん

4年 優勝 山口 琥雅 さん・3年 3位 荒関 風吏 さん



10月5日(日)の戸口小・戸口校区運動会！心に残る運動会になるよう どうぞよろしくお願い申し上げます。



ひらき山

《 校 訓 》 強く・正しく・むつまじく

校 長 森 智 子

育てたい心 ～ 自分軸 ～

4月号で「ありがとう」を求めない生き方をしている「アンサンブールヒーロー」について書かせていただきましたが、最近、子供たちを見ながら考えていることがあります。それは、**子供たちの心に「自分軸」を育てたい**ということです。学校教育の中でももう少し、「自分軸」の芽を育めないだろうかと常々考えています。なぜなら、「他人軸」だと、生きていくのがしんどいと思うのです。「自分以外の他人にどう思われるか?」「他の人(みんな)がしているから」が物事の基準になり、自分の思いを押し殺したり我慢したりして、少々息苦しい感があります。また、「褒められたいから行動する。」「認められたいから行動する」ということにもつながり、裏を返すと「誰かに見られていないと頑張れない」ということにもなります。もちろん「人は人の間で生きている」わけですから、他人を思いやったり察したりすることは、とても大事なことです。決して、「自分軸」=「わがまま」ということではありません。小学校のうちから少しずつ価値基準・判断基準を「自分の中」にもたせていきたいと思うのです。ほめられなくても、誰かに認められなくても、**自分が正しいと思ったことや自分が好きなこと、自分がやりたいと思ったことを他人に左右されず、自分の意思で決め、行動できるように育てていきたいのです。そうすると人は、強くなると思います。たった一度の自分の人生!「他の誰かの軸」ではなく、「自分軸」で決め、自分のために生きる子供を育てていきたいと思います。そのために、今学校で何ができるのか!**

- 価値基準・判断基準の質を高めるために道徳科を大事にしていこう。
 - ことあるごとに「自分はどうしたいのか」問い、「自分で決める」場面を増やし「自分の思い」に意識を向けさせていく。そして、思いの実現に向けて、教職員は、助言をしたり一緒に考えたりしながら支えていく。
 - 「褒め方」についても気を付けていきたい。ある特定の行いを誘導するような褒め方やよい結果だけを褒めるのではなく、そこに至るプロセスや考え方等に焦点を当てていく。まだまだ、他にもありそうです。
- なんだかんだ書きましたが、要するに**「他人の価値観に左右されず、自分の行動を自分で決め、正々堂々、自分らしく生きていく」**生き方の芽を小学校のうちに少しずつ育てていきたいと思うのです。先輩教員から教えていただいた言葉に、**「医者とは人の命に関わり、教師は人の魂に関わる」**というものがあります。「人の魂に関わる」なんて、大変恐れ多い言葉のような気もしますが、**それぐらいの気概・気骨を以て教育に当たれ**ということだと思っています。「自分軸」育成に向けて、努めていきたいと思っています。

一日のスタートは 夜!

～ 新しい一日を 心身ともに健やかに過ごせるように ～

子供たちに、「一日のスタートは、朝?昼?夜?」と質問すると、大概の子供たちは、「朝」と答えます。正解です!しかし、「気持ちの良い一日」「充実した一日」を過ごすためには、夜の過ごし方が、大変重要になってきます。子供たちにとって一番の敵は、「睡眠不足」だと思います。大人にとっても睡眠不足は辛いもの!子供たちにとってはなおさらです。子供たちの中には、ときどき、朝から疲れた顔をしていたり。授業中あくびを連発したりする子もいます。なかなか気分が乗らず、授業に身が入らないようです。幸せなことに、私達には、毎日新しい一日がやってきます。少しでもその一日を気持ちよく過ごせるように、学校と家庭と協力して前夜の過ごし方についてサポートをしていきましょう。



校内相撲大会 開催!

～ 全ての子供たちの真剣な姿に 感動 ～

子供たちは誰一人手を抜くことも無く、自分の精一杯の力で勝負に臨んでくれました。子供たちの真剣な姿に、胸が熱くなりました。この相撲大会を開催するに当たり、土俵を整備してくださった方々、チヂンを準備し、熱い声援を送ってくださった地域の皆様、御指導くださった太利さん、行司、審判、接待、片付けを手伝ってくださった保護者の皆さん、本当に有り難うございました。



優勝者

低学年の部：松元あやとさん・福原あかりさん
中学年の部：中村そうすけさん・山口ののかさん
高学年の部：牧主拓誠さん・赤尾 凜さん

大豊作の2025年 ～ 実りの秋! ～

昨年、「学校で奄美の特産品の果樹や野菜が実ったらいいな!」と思っていたところ、バナナやスモモ、パパイヤの苗木をいただいたので、校内に数本植えることができました。また、特別教室の裏に、アカギ等の腐葉土を利用し職員が頑張って畑を作りました。すると今年度は、ピーマン・オクラ・ナス・トマト・冬瓜・島キュウリ・ニガウリ・ヘチマ等、多くの野菜や果樹が実り、収穫ができました。郷土の作物を育てる楽しさ、食べる喜びを全校で体感する体験活動を続けていきたいと思っています。



豊かな地域人材に感動と感謝!

～ 子供たちへの御指導、ありがたまりようた ～

相撲の作法指導、走り方教室(陸上指導)、八月踊り指導に龍郷町内や集落の方々に御協力いただき、子供たちへの指導をしていただきました。

相撲の作法指導

9/3(水)は、太利光寿さんに御来校いただき、相撲の作法指導をしていただきました。土俵に上がるときから下りるまでの作法や、禁じ手など分かりやすく教えていただきました。これを機に子供たちの意欲も一段と高まったようでした。校内相撲大会当日は教えていただいたことを生かし、精一杯取り組んでいました。



走り方教室(陸上指導)

9/12(金)は、龍郷町の四本信に教諭に御来校いただき、走り方のコツやバトンパスの方法など楽しく教えていただきました。走ることが得意な子も苦手な子も、みんな真剣に話を聞いて学んでいました。さっと運動会では、教えていただいたことを生かし、全力で頑張ってくれよう。



八月踊り指導

9月12日(金)は、講師に重田スエ子さん、森福子さん、森節代さん、新島由美さん、牧主富士美さんが御来校くださり、『八月踊り』の唄や踊り、チヂン、三味線の練習をしました。よりよくなるように細部にわたって御指導いただきました。教えていただいたことを学校の方でも練習を重ねていきたいと思っています。運動会当日は集落のみなさんと楽しく踊ることをとても楽しみにしています。御指導ありがとうございました。



10月 行事予定

- 3日(金) 鼓笛パレード(雨天中止)
10:00~11:10
- 5日(日) 運動会
- 6日(月) 振替休日
- 10日(金) 「ようこそ先輩」授業
講師：宮山来三さん
山口 京枝さん
朝 柚奈さん
- 15日(水) 教育相談(～17日)
- 29日(水) 中学年部社会科見学
- 31日(金) 低学年集合学習

11月 行事予定

- 1日(土)～7(金) 地教育「かごしまの教育」県民週間
- 3日(月) 祝：文化の日
- 4日(火) 生活リズムチェック週間
- 5日(水) 第2回学校評議員会
- 8日(土) 学習発表会
9:30～11:00
- 16日(日) 町駅云競走大会
- 21日(金) 高齢者との交流会・ふれあい給食
- 23日(日) 祝：勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 校内人権週間(～12月1日)
- 28日(金) 人権集会